

**堺市子ども・子育て総合プラン(第2期堺市子ども・子育て支援事業計画)  
中間見直し(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方**

	ご意見の要旨	市の考え方
○プラン全体に関するご意見		
1	<p>令和・平成・昭和のような、日本独自の元号だけでは、わかりにくいです。</p> <p>また、西暦だけでもわかりにくいです。</p> <p>堺市全体としてのお願いになりますが、次に元号が変わった時にも持続可能なように、全ての文章に西暦と元号を併記することを願っています。</p>	<p>本市の事務に関して作成する文書の年の表記は、原則として全て和暦（元号を使用した表記）により表記することとしており、外部へ発する文書も同様の取り扱いとしています。</p> <p>しかしながら、本計画については、いただいたご意見を受け、年の連続性を明確にするため、従来の和暦表記から、和暦と西暦を併記した形式を取り入れます。</p>
○4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと供給体制の確保方策の見直し		
2	<p>(8) 民間認定こども園等一時預かり事業（民間認定こども園等）／堺市一時預かり事業（公立認定こども園）</p> <p>令和5年度から第2子無償化が実施され、一時保育も無償化になると仮定すると増加が見込まれると考えます。</p> <p>短時間パート等、事情がある人にとっては助かる制度です。</p> <p>見直し後の数値の再検討を願います。</p>	<p>一時預かり事業における第2子以降の無償化の拡充対象は、市町村民税課税世帯の0歳児クラスから2歳児クラスの子どもの、在園しておらず、かつ、保育の必要性の認定を受けた一部の方に限られたものであることから、現時点では、見直し後の数値を修正するほどの影響がないものと考えています。</p>
○その他		
3	<p>近年、子どもたちの薬物依存や自殺がますます低年齢化している傾向にあるが、情報分析や対策、予算措置は十分に取れているのでしょうか。</p> <p>また、所管部局との連携や所管部局の管轄する有識者にも意見交換しているのでしょうか。</p> <p>子どもたちの薬物依存や自殺のますます低年齢化に対する認識をお聞かせください。</p>	<p>子どもたちの薬物依存や自殺が低年齢化傾向にあることは、重大な課題だと認識し、本市では当該課題を議論するための会議体を庁内に既に設置しています。</p> <p>子ども青少年局としても、当該会議体に参画し、所管部局と情報交換や議論を行っています。</p> <p>今後も引き続き、関係部局と連携して課題解決に向けて取り組みます。</p>